



ベテル通信

2023年3月号（第236号）

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000
ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

『人生会議』

～自分らしくいられるために～

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）という言葉を目にする機会が増えてきました。

ACPとは「人生の最終段階の医療・ケアについて、本人・家族等・医療・ケアチームが事前に繰り返し十分話し合うプロセス」の事です。

2020年より中橋院長、中野看護部長、上杉師長、加藤看護師を初期メンバーに、「ベテルACPプロジェクトチーム」が出来ました。私の所属する地域包括ケア病棟でも、2020年からプロジェクトチームが作成したベテルACP情報シートを活用し、患者さまの意向や大切に思うことを聞き取り、価値観を理解、共有する様にしています。

「やっぱり、家に帰りたい」「痛いことはしたくない」「出来る事があるなら、延命して長生きしたい」その人その人で、自分の人生に対する考えは違います。一度決めた事でも、状況が変わると気持ちは揺れ動き、意向が変わることもあります。

病院・組織の理念にもある「その人らしさを大切にケアの提供」をしていきます。今までの自分、これからの自分はどうか過ごしていきたいのか？そのためにはどうしたらいいのか？患者さま・ご家族さまから、お話を伺いながら理解を深めたいと思います。

主治医・看護師・看護補助者・医療ソーシャルワーカー・ケアマネジャー・リハビリスタッフ・薬剤師・栄養士など沢山のスタッフが、それぞれ専門分野の力を発揮し、その力を一つにして、皆で話し合い、共有し、一緒に支えています。悩み、答えが出せない事もあります。当然です！そのために、何度も話し合い、ご家族が「お爺ちゃんらしいね！」「お母さんらしいね！」と、一緒に言えるように最善の選択が出来るお手伝いをしています。

.....

3階東病棟の基本方針（地域包括ケア病棟）

.....

安全で良質な医療と心のこもった看護・介護及びリハビリの提供を行います。
患者様個々の身体・精神状況に応じて、安心した生活が送れるように支援します。
患者様が円滑に退院後の生活に移れるよう、患者様・ご家族と多職種で検討し、サポートします。
患者様の尊厳を守り、医療・生活における意思決定を支援します。

（3階東病棟看護師長 荒木 一恵）



共食と共感は人類の叡智^{えいち}



IT (Information Technology)・AI (Artificial Intelligence) 技術の急速な進歩により、対面せずに会議が出来たりスマホで何でも手続きが出来たりと非常に便利になっています。その反面、コロナ禍で輪をかけて人と人との対面での接触がかなり減り、パソコンやスマホで用事を伝えあうだけになり、「これで良いのかな？」と思うことも多々あります。スマホのアプリのパスワード等の入力がかたく行かずイライラしたり、スマホが停電で動かなくなったり紛失したりしたらどうしようかと不安になったり、まさにスマホに振り回されている感があります。また「共に食事(共食)をする機会」が激減しています。家庭内でも各人がそれぞれ用事があり、食事する時間がずれて孤食になりやすいということがあるかも知れません。

山極 壽一氏(専門は霊長類学・人類学でゴリラ研究の第一人者。総合地球環境学研究所所長、前京都大学総長)によると、ニホンザルは厳格な階級制であり、上位のサルは下位のサルに食物を分け与えることはめったにありませんが、類人猿(ゴリラ、オランウータン、チンパンジー)は子供や若い個体が年配の個体に食物を分配するよう要求し、年配の個体は小さい個体に分け与えるそうです。「その理由は、分配によっていい関係を結べたり、仲間の支持を得たりといった社会的な恩恵があるからと考えられている。」(京都大学学術出版会『レジリエンス人類史』第1章 ヒトのレジリエンスの起源(山極 壽一著)より引用)食物の分配行動は、「類人猿の様に成長に時間のかかる子を持つ(中略)、離乳期に母親とそれ以外の大人が子供に食物を分配する必要が生じ、それが大人の間で普及したのではないかと考えられるのである。」(同引用)類人猿からさらに進化した人類が「共食」と「共感」をさらに発達させました。「脅威を克服して生息域を広げるためには、自己犠牲をいとわぬ強い社会力が必要だった。それが、共食と集団育児を原則とした家族と共同体の重層社会、それに仲間の結束を強化する音楽的コミュニケーションによる、レジリエンス能力の増大によって成し遂げられたと想像できるのである。」(同引用)

SNS(私はあまりやりませんが)上で、ある事に対して意見が対立し、賛成派と反対派に2分して互いに相手を攻撃し合うような「炎上」があるようです。反対意見の人を最初から「相容れない存在」として排除してしまう思い込みがベースにあると思うのですが、ここを踏み止まり、なぜ相手がそのように主張するのか？相手の背景や状況を思いやる「共感」という姿勢が必要ではないでしょうか？

IT は今後も増々発達します。AI が近いうちに人間の仕事をかなり奪うのではないかと危惧する向きもありますが、AIに「共食」と「共感」は出来ません。今こそ、人類に特有の「共食」と「共感力」を生かして各人の意思が幸福に通じ合える世界を作ればと思います。例えば、週1回でもお互いにスマホを丸一日使用しない日を作って直に話す(離れた人の場合は会いに行く)日を作っても良いかも知れません。



【オランウータン】



おくすりの基原



◎ 泰孝 医師 (精神科・心療内科)

シロクマのヒゲを乾燥させた生薬(熊胆)の胆嚢のことですが、薬局方(医薬品に関する品質規格書)には、熊胆を乾燥させた生薬であり、当院でも、その成分「ウルソデオキシ酸」が多く使用される薬剤の一つです(利胆作用があります)。



川通りを車や自転車、あるいは徒歩で通った時、川沿いに植えられている柳の木に目を留められたことはあるでしょうか？柳の葉を乾燥させた生薬(柳葉)は、天然物化学の世界では配糖体サリシンが有名です。これをもとに1897年ドイツの製薬会社によって創薬された医薬品がアスピリンです。現在では、抗血小板薬として脳梗塞や心筋梗塞の予防に多く用いられています。

昨年、松山市の道後温泉の旅館付近で首長竜の歯の化石が見つかったことは記憶に新しいかと思えます。リュウコツ(竜骨)は大型ほ乳動物の化石化した骨で、主に炭酸カルシウムから成りますが、この名称はかつて恐竜の化石であると考えられたことに由来します。中国は恐竜化石の宝庫。もしかしたら、プロトケラトプスやヴェロキラプトルを竜骨として飲んでしまった人もいるかもしれませんね。

私たちの生活には、あらゆる天然物由来の成分や生薬の基原が関わっています。例えば、生薬は漢方薬を構成する原料で、薬効があるとされる一部分を加工したものです。その基原となる存在は植物に限らず、動物や分泌物、真菌や鉱物にまで及びます。生薬でなくとも、赤ちゃんの肌に安心して使用出来るプロペト(白色ワセリンを精製したもの)の原料は石油であるし、ある種類の抗がん剤は花壇の定番ニチニチソウ(日々草)から生まれました。

このように、知らずにいても日常生活になんら問題はないのですが、知っているとは少しだけ見る世界が変わります。人によって興味は異なりますが、今月と来月だけ、お付き合いいただけると幸いです。次回は、薬用植物や生薬の味についてご説明します。



(薬剤師 門田 優子)



ベテルの梅の花

当院の第1駐車場に咲いています。梅の花を見ると、春の訪れを教えてくれているように感じますね。

梅の花言葉は色によっても変わるそうです。ピンク色の花言葉は「清らかさ」です。



ベテル病院 創立40周年！！

2月号に掲載したクイズの答えは分かりましたか？
ベテル病院で働いている職種は何種類？
正解は③の16種類以上でした！

医師・看護師・薬剤師・放射線技師
臨床検査師・社会福祉士・介護福祉士
理学療法士・言語聴覚士・作業療法士
管理栄養士・保育士・介護支援相談員
ホームヘルパー・病棟クラーク・事務職等の職種が連携して病院を支えています！



鏡見て
ママの真似する
おひなさま
(千 隆)

梅の香を
マスク外して
深呼吸
(ねこ丸)

「お目出とう」
ベッドで受ける
メールかな
(尾崎 長子)

ベテル旬会

- ・ 投句箱を外来・各病棟に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。
- ・ 『ベテル通信』について、ご意見やご要望を「ご意見箱」へお寄せください。
- ・ 掲載中の写真についてはご本人様、ご家族様の許可を得ています。

発行日 2023年2月24日